

公益財団法人橘秋子記念財団
令和5年度事業報告書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

1 バレエ芸術の表彰

(1) 橘秋子賞及び牧阿佐美賞

令和4年度に選考を行なった授賞者（第41回橘秋子賞：地主薫氏、第1回牧阿佐美賞：青山季可氏、橘秋子特別栄誉賞：森下洋子氏）について、令和5年5月16日（火）午後4時から九段会館テラスコンファレンス&バンケットにおいて授賞式及び歓談会を開催し、賞状及び賞金を授与した。

(2) 埼玉県舞踊協会主催による埼玉全国舞踊コンクールの各部門の1位入賞者に対し、橘秋子賞として盾（ブロンズ）を授与した。

2 奨学金の授与

令和5年5月20日（土）、21日（日）に開催した第9回ジャパンダンスコンペティションにおいて選考委員会による選考の結果、該当者はなかった。

3 バレエ公演の開催事業等

(1) 児童のためのバレエ芸術の指導とその発表

ア 東京会場では月3回、新潟会場では年15回、児童に対してバレエの指導を行なった。

イ 上記の成果を発表する場として、令和5年8月17日（木）新宿文化センター大ホールにおいて「第48回日本ジュニアバレエ公演」を実施した。参加人数は67名（うち生徒63名、ゲスト4名）で、入場者数は656名（うち招待43名）であった。

(2) 青少年に対するバレエ芸術の後継者育成事業（牧阿佐美バレエ塾）

ア 牧阿佐美バレエ塾（年齢15歳～22歳）は6名に対してバレエレッスン及び教養講座を週5回、年11ヶ月（8月夏休み）実施した。

イ 盛田正明スカラシップは上記塾生の中から新たに選考した1名について授業料を免除し奨学金を支給した。

ウ 小・中学生コース（小学4年生～高校1年生）は37名に対して月3回（8月夏休み）バレエレッスンを行った。

エ 夏休み特別クラスは、8月29日（火）から31日（木）までの3日間で、小学4年生～中学1年生が15名、中学2年生～22歳が13名、また、大人クラスは8月30日（水）、31日（木）の2日間で9名が受講した。冬休み特別クラスは、12月27日（水）から30日（土）までの4日間で、小学生（4年生～6年生）が18名、中学生が11名、高校生から22歳までが10名、大人クラスは14名が受講した。

オ 牧阿佐美バレエ塾発表会は会場の都合で、令和6年4月5日（金）に延期した。

（3）ジャパンダンスコンペディションの開催

次代を担う優れた才能を発掘し育成することを目的として、5月20日（土）、21日（日）の2日間、なかのZERO大ホールにおいて「第9回ジャパンダンスコンペディション」を開催し、111組の参加があった。また、同時に開催したレヴールコンサートには18名の参加があった。

4 国内外での実績があるバレエ教師、振付師の招聘

バレエ教師等の招聘によるワークショップについては実施しなかった。

5 会報の発行

不定期発行の「バレエ・エスカイヤ」について、今年度は発行しなかった。

6 橘秋子・牧阿佐美記念基金への寄付について継続して募集を行った。

7 その他の事業

上記の事業の円滑な実施のために必要な寄付金の募集活動を行った。